

平成20年2月19日

倉敷市長 古市健三様

陳情者 倉敷のスケートリンクの存続を願う会

代表氏名 前田 晶代

岡山厚生年金健康福祉センター「ウェルサンピア倉敷」の
スケートリンクの存続に関する陳情

陳情の要旨・理由

倉敷市連島町西之浦の岡山厚生年金健康福祉センター「ウェルサンピア倉敷」に設置されているスケートリンクは、多くの市民に利用されるとともに、フィギュア・スピード・アイスホッケーの各クラブが活発に活動しており、世界の頂点を目指す高橋大輔選手を始め、国際舞台で活躍する選手も育てております。

独立行政法人 年金・健康保険福祉施設整理機構（以下「RF O」という。）が2月1日に予定していたウェルサンピア倉敷売却に係る一般競争入札に参加者が無く不調に終わりましたが、再入札までには数ヶ月を要するため、ウェルサンピア倉敷の施設は、今年3月末をもって一旦閉鎖される見込みであります。

スケートリンクが閉鎖され、空白期間が長くなりますと、選手の練習に重大な支障が生じることは明らかですので、一日も早く新しい経営主体に引き継がれるようRF Oに対し強く要望して頂くようお願い申し上げます。

また、このスケートリンクは、選手だけでなく数多くの市民に親しまれており、スケート教室の受講者も多く、市民スポーツ・生涯スポーツの拠点にもなっております。

倉敷市におかれましては、このスケートリンクを市民の貴重な財産として位置づけられ、存続に積極的に取り組まれますよう要望します。